

第2章

私たちが目指す地域の将来像

私たちはどのような地域をめざすのか。これを将来像としてしっかり構築しておかなければならない。
なぜなら、将来像が明確であればあるほど、成功に向けてのエネルギーは強大になるからだ。
将来像は行動力の源泉になる。

子どもの子どもの子どもたちへ。 伝えたいものは何か。残したいものは何か。 みんなで地域の将来像を語りあった。

そこから、導かれたキーワードは、次の通りだ。

地域でもてなす

静かで落ち着ける環境

人と自然のやさしさが実感できる温泉街

地元の食材活用

浴衣姿、下駄・草履履きで散策できる街

その地にいるだけで心安らぐ街・癒される街

日本のふるさと

四季折々の風景が美しい街、四季がわかる街

人が集まり、触れ合う街

母の羊水と同じ泉温

目指すべき地域の将来像。

私たちは、ワークショップで出てきた「母の羊水と同じ泉温」というキーワードに注目した。
そこから導き出したコンセプト、

それは「生命力」

古湯・熊の川温泉を取り巻く「生きとし生けるもの」はすべて生命力を共有している。循環している。
このことに皆で気付こう。人は生命力あるものに魅かれ、生命力を取り込もうと願うのだから。
将来像の実現のために、私たちは「生命力」というコンセプトを持って、明日に向かって生き生きと暮らす。
実感に満ち満ちた人生を送る。
そうした生き方こそが地域に、元気をもたらす。元気な地域に、人は集い交流を生む。
これが私たちの目指すべき地域の将来像だ。

生命力をコンセプトに、実践に向けた計画を「生命やしなう源づくり」という名称のもとに
活動していくこととする。

古湯・熊の川温泉 いのち 生命やしなう源づくり みなもと

古湯・熊の川温泉の泉温は38℃。
それは母なる羊水温度と同じ。
それは生命の根源。
根源なるものには、生命力が宿っている。